

ダンスや歌で国際交流

松本秀峰中等教育学校1・2年生 米の団体と



おそろいの赤いTシャツを着て一緒に踊る生徒たち

松本秀峰中等教育学校(松本市)の1・2年生約160人は6日までの3日間、全世界でパフォーマンスを披露する米国の団体「HEART GLOBAL(ハート・グローバル)」と交流した。生徒たちは団体のメンバー30人から英語でダンスや歌を教わった後、最終日の6日に保護者の前でショーを発表。約20曲を元氣いっぱい披露した。

団体メンバーと一緒にショーを作り上げることで、自己肯定感などを味わってもらおうと昨年度から企画。生徒たちはメンバーと相談しながら人気ゲームのテーマ曲やミュージカル曲などからなるショーを考え、生徒自身も英語で歌うソロパートなどを担当し、達成感をにじませた。

2回目の参加となる2年の横西周さん(14)は「今年は担任の先生も参加して一体感があった。今後も、失敗してもいいから一生懸命取り組みたい」。メンバー3人のホームステイも受け入れた1年の戸沢夏帆さん(13)は「外国の文化を身近に感じられた。いつか世界各地で仕事をする際に生かしたい」と話していた。

1、2年生 歌やダンス披露

松本秀峰 パフォーマンスショー

松本市埋橋2の松本秀峰中等教育学校1、2年生約160人が、

を学んだ成果を、保護者らに堂々と発表した。

6日、パフォーマンスショーを校内で披露した。国内外の若者ボランティアからワーク

0年代から現代までのヒット曲メドレー、ミュージカル曲メドレー

ショップ(WS)で3日間かけて歌やダンス、発声の仕方などを題材に歌やダンスで表現した。誰もが

ユージカル曲メドレーやダンスが好きだとも分かり、これからもいろいろなことに積極的

に参加したい」と話していた。

表現教育活動を行う

米国の非営利団体・ハート・グローバルによるプログラムの一環で行われ、千葉県のNP

O法人・じぶん未来クラブが招致してWSと

ショーを主催した。同校では、自分に自信を持ち、新しい個性を開花してほしいと2回目の開催となった。

（降旗玲菜）



往年のヒット曲に乗って堂々とダンスを披露する生徒ら